

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			アセスメントシートや支援マニュアルに記載している。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・日によって職員の人数が少なく全体に目が届かないことがある。 ・1対1対応の必要な方もおり、他スタッフさんから職員配置が足りない指摘されることがある。 ・利用者さんが何をしているかの把握やア
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーター、手すり、スロープなどでバリアフリー化されている。 ・Fステは良いが四谷は車いすでの移動は適していないように感じる。ホールの個別活動の机などでの活動は可能だった。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			支援に入るにあたってスタッフ内で情報の共有をする。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			支援に入るにあたって親御さんからの要望をスタッフ内で共有している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			自閉症や重度心身障害についてなど幅広く研修をしていると思う。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			時間の見通しが苦手な利用者さんにはスケジュールの提案や個別活動の提示をしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な 支援の 提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			2か月に1回の放デイ会議にて近況の情報を共有している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・いつも行っている活動が利用者さんの心の安心にも繋がっているので変更が難しく固定化されている。 ・スケジュールの提示などを行いながら工夫して活動を提供できていると思う。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		課題などは決めていないが長期休暇にしかできない企画を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別活動の提供、集団生活での関わりができるように計画している。 ・イベント等で集団活動はできているが、日常的にはできていない部分が多い。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		・記録の記入については分担できているがその日に行う支援については事前に打ち合わせできていないことがある。 ・職員によって勤務開始時間が違ったり、送迎に出向く職員も多いため、個人での確認にとどまっている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・支援終了後に良かったことや問題点などを共有し報告している。 ・打ち合わせまではできていないが、LINEやメールを通して情報共有はできている。 ・常勤スタッフではできているがヘルパーとの打ち合わせはメールで行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・どのように過ごしていたか詳しく記録を記入している。 ・記録の書き方にバラつきがあるため、改善が必要と感じる。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・年に2回モニタリングを行っている。放デイの様子や行ってほしい支援について聞き取りをしている。 ・放デイ会議にて計画の振り返りができている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画の見直しを行っているか		○		コロナ禍のため地域交流の場を設けるのは難しかった。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			ふさわしいスタッフを選定している。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・問題に対して素早く処置しスタッフ間で助け合いができています。情報共有を定期的に行っている。 ・学校から年間や月間で予定表をもらいながら情報共有ができていますと感じる。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業者などとの間で情報共有と総合理解に努めているか	○			・児童発達から放デイに上がる利用者さんについてはアセスメントシートの作成や放デイ体験をしている。 ・児童発達と同じスタッフが関わられるようになり、共有もしやすくなったと感じる。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			情報を共有し理解を深めている。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・お迎えの際の引継ぎなどで保護者の方と情報交換をしながら最近の状況など確認できている。 ・いつもと違う様子が見えた時はメール等のやり取りで情報共有し、共通理解を求める
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		
保護者への説明責任等	27	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明している。
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			お迎え時に悩み事について話し合う。
	29	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・近年は開催できていない。 ・来年度は交流会を開催予定。
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			利用者さんの身の安全を第一に考え迅速に対応している。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・年に1回通信の発行、年に2回の放デイ便りの発行をしている。 ・事業計画にも取り入れ、放デイ便りとして利用時の様子を発信している。
	32	個人情報に十分注意しているか	○			スタッフ、利用者さんともに個人情報は一定の場所に保管している。
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カードや伝わりやすい言葉で意思疎通を心掛けている。
	34	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			定期的に虹色カフェの開催している。
非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・書面にて周知、疑問な点は口頭やメールにて回答をしている。 ・新たにマニュアルを作成できた。
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		訓練まではできていない。
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員内での会議で虐待について話した。
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			子供には十分説明ができていない。
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アセスメントシートや支援マニュアルに記載している。
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			支援に関わるスタッフにメール、書面にて共有している。